

『社会課題対応型都市公園機能向上促進事業』とは

- ・地方公共団体が行う都市公園の整備に当たり、ユニバーサルデザイン化や感染症対策など国として推進すべき施策への対応を目的としたもののうち、他の公園の参考となる優良な取り組みを行うものを募集・選定し、予算支援の重点化を通じて、その取り組みを実現するとともに、取り組み事例を周知・共有し、他の公園での実績を促すことで、施策効果の底上げを図ることを目的とする。
- ・予算支援の重点化に当たり、確実かつ集中的に支援することを可能とする個別補助制度である。

【自然散策ゾーン】

- ・現況の樹木を保全する空間。既存の通路を整備・活用し散策路を確保する。また、身近な自然のふれあい空間を形成する。
- ・まちを修景する緑地適切な維持。

【スポーツ交流ゾーン】

- ・恋ヶ浜緑地公園の核施設として、誰もがスポーツに親しめる環境を整備する。
- ・競技場としての機能強化を図り既存運動施設の適切な維持や改修を行う。(令和3年度整備済)

【管理棟】

- ・管理室
- ・多目的室
授乳室や救護室等に利用可能
- ・トイレ
男女トイレ、ユニバーサルトイレ

【遊具ゾーン】

- ・障がいの有無にかかわらず、誰もが安全・安心・快適に楽しめる「インクルーシブ遊具」を導入する。
- ・広いスペースを生かし、発達段階別に未就園児（1～3歳）、幼児（3～6歳）、児童（6～12歳）に分けてゾーニングする。
- ・保護者が監視しやすい、見通しの良いオープンスペースと休憩施設を整備する。

【芝生広場ゾーン】

- ・広域避難場所として位置づけられており、物資の集配基地や中長期の避難地などの防災機能の充実を図る。
- ・発災時に応援部隊の活動拠点として使用できるオープンスペースを確保する。
- ・遊び場やパーゴラ等の休憩施設を設け自由に使える芝生広場ゾーンとする。

【園路・通路】

- ・段差の解消や仕上げを工夫したバリアフリー構造とし、誰もが安心安全に自然を満喫できる遊歩道を整備する。
- ・発災時に円滑な行動がとれるよう動線や勾配に配慮し、他の施設にも円滑に移動できる計画とする。

【多目的広場ゾーン】

- ・幅広いスペースを活用した憩いの場としての機能と、災害時 広域場所の拠点機能を兼ね備えた施設整備で公園が果たすべき機能などに配慮したゾーン。
- ・広場での多様な活動を阻害しない範囲で、木陰の設置やパーゴラ、ベンチなどの配置を行い、心地よく休憩ができるエリアとする。

【駐車場ゾーン】

- ・駐車場の台数不足への対応や、適切な駐車場の配置を行う。
- ・大型バスでの利用も想定し、進入路や入り口の整備を行う。

【トイレ棟】

- ・男女トイレ
- ・こどもトイレ
幼児用トイレやおむつ替えに利用可能
- ・ユニバーサルトイレ

